

日本史

第1問 次の文章を読み、以下の問いに答えよ。

9世紀末以降、勢力の維持拡大のために武装するようになった地方豪族や有力農民は、やがて武士団を形成していった。このうち、東国に拠点を置いた桓武平氏の中で勢力を拡大した（ a ）は大規模な反乱を起こして新皇を自称したが、b 同じ東国の武士により討たれ、同じ頃、瀬戸内海を海賊を率いた（ c ）も反乱を起こした。これらの d 東西の反乱や、九州に攻め込んできた（ e ）が武士により撃退されたことなどを通じて、地方武士の実力を知った朝廷や貴族は、e 彼らの武力を活用するようになった。

問1 （ a ）と（ c ）に当てはまる人物の組み合わせを、次の1～4の中から一つ選べ。解答番号は[1]

- 1 a - 藤原基衡 c - 平将門
- 2 a - 平将門 c - 藤原基衡
- 3 a - 平将門 c - 藤原純友
- 4 a - 藤原純友 c - 平将門

問2 下線部 b に関して、（ a ）を討伐した人物は誰か。次の1～4の中から一つ選べ。解答番号は[2]

- 1 平頼綱 2 平忠常 3 平高望 4 平貞盛

問3 下線部 d が発生したのはいつか。次の1～4の中から一つ選べ。解答番号は[3]

- 1 902年 2 939年 3 1019年 4 1051年

問4 （ e ）にあてはまるものを、次の1～4の中から一つ選べ。解答番号は[4]

- 1 元 2 契丹 3 高麗 4 刀伊

問5 下線部 f に関して、宮中を警衛するために何候した武士のことを何と呼ぶか。次の1～4の中から一つ選べ。解答番号は[5]

- 1 滝口の武士 2 追捕使 3 押領使 4 館侍

第2問 次の文章を読み、以下の問いに答えよ。

東国において勢力を拡大していた源氏の勢力が衰えたのに代わって、桓武平氏が勢力を拡大した。とりわけ、出雲で反乱を起こした源義親を討った（c）、瀬戸内の海賊を平定して昇殿を許されたその子の（d）によって平氏の地位は向上し、（d）の子の平清盛に至って、その勢力は飛躍的に伸ばされた。鳥羽上皇の死去の後まもなく発生した保元の乱、続いて発生した平治の乱の結果、平清盛は武家の棟梁としての地位を急速に高めることになった。

問1 下線部aに関して、陸奥守として後三年合戦に介入し、これを平定した人物は誰か。次の1～4の中から一つ選べ。解答番号は[6]

- 1 源満仲 2 源頼光 3 源義家 4 源義仲

問2 下線部bに関して、この時期の桓武平氏の地盤となっていた地域はどこか。次の1～4の中から一つ選べ。解答番号は[7]

- 1 伊勢 2 木曾 3 伊豆 4 能登

問3 (c)と(d)に当てはまる人物の組み合わせを、次の1～4の中から一つ選べ。解答番号は[8]

- 1 c-平重盛 d-平正盛
2 c-平正盛 d-平重盛
3 c-平忠盛 d-平重盛
4 c-平正盛 d-平忠盛

問4 下線部eに関して、この時平清盛と共に後白河天皇側立った人物を、次の1～4の中から一つ選べ。解答番号は[9]

- 1 藤原頼長 2 平忠正 3 藤原忠通 4 源為義

問5 下線部fが発生したのはいつか。次の1～4の中から一つ選べ。解答番号は[10]

- 1 1151年 2 1156年 3 1159年 4 1167年

第3問 次の文章を読み、以下の問いに答えよ。

徳川家治の時代に a 老中となった田沼意次は、幕府の財政難を打開するために商人や職人の仲間を株仲間として公認して b 税の増収をめざし、c 専売制を実施して利益の吸収をはかった。また、d 初めて定量の計数銀貨を鑄造して貨幣制度の一本化を図る等の政策を行い、更に、e 蝦夷地開発を計画した。

問1 下線部 a に関して、田沼意次が老中に就任する前の役職を、次の1～4の中から一つ選べ。解答番号は[11]

- 1 側用人 2 勘定吟味役 3 京都所司代 4 年寄

問2 下線部 b に関して、江戸時代において商工業者の営業免許税として課されたものを、次の1～4の中から一つ選べ。解答番号は[12]

- 1 高掛物 2 段銭 3 冥加 4 国役

問3 下線部 c に関して、この時期に設けられた幕府直営の座に当てはまらないものを、次の1～4の中から一つ選べ。解答番号は[13]

- 1 油座 2 銅座 3 真鍮座 4 朝鮮人参座

問4 下線部 d に関して、この貨幣を、次の1～4の中から一つ選べ。解答番号は[14]

- 1 乾元大宝 2 永楽銭 3 寛永通宝 4 南鐘二朱銀

問5 下線部 e に関して、「赤蝦夷風説考」を著して蝦夷地開発の必要を説いた人物を、次の1～4の中から一つ選べ。解答番号は[15]

- 1 工藤平助 2 近藤重蔵 3 間宮林蔵 4 最上徳内

第4問 次の文章を読み、以下の問いに答えよ。

松方財政に伴う農村の窮迫や政党間の対立の激化などの影響で民権運動は衰退したが、地方では、a福島事件や、b秩父事件などの直接行動が発生していた。この時期、統制力を失った、c自由党は解党したが、国会開設が近づくと、d三大事件建白運動が発生するなど民権運動の再結集が図られ、e政府の弾圧にもかかわらず、その後の政党の再建につながっていった。

問1 下線部 a に関して、この時検挙された福島自由党の幹部を、次の1～4の中から一つ選べ。解答番号は 16

- 1 三島通庸 2 星亨 3 河野広中 4 片岡健吉

問2 下線部 b に関して、埼玉県秩父地方の農民運動組織を、次の1～4の中から一つ選べ。解答番号は 17

- 1 困民党 2 全国水平社 3 立志社 4 社会大衆党

問3 下線部 c はいつの出来事か。次の1～4の中から一つ選べ。解答番号は 18

- 1 1878年 2 1881年 3 1884年 4 1887年

問4 下線部 d に関して、その内容に当てはまらないものを、次の1～4の中から一つ選べ。解答番号は 19

- 1 地租の軽減
2 言論集会の自由
3 普通選挙の実施
4 外交失策の回復

問5 下線部 e に関して、三大事件建白運動の高揚に対応して公布され、民権派570余人を皇居外3里に退去させた法令を、次の1～4の中から一つ選べ。解答番号は 20

- 1 保安条例 2 讒謗律 3 集会条例 4 新聞紙条例

日本史

解答番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
解 答	3	4	2	4	1	3	1	4	3	3	1	3	1	4	1	3	1	3	3	1	4	3	1	2	2

内容の一部又は全部を無断で複写複製(コピー)することは、法律で認められた場合を除き、著作(権)の権利侵害となります。

桐蔭横浜大学